



# 都城西 ロータリークラブ

Rotary Club of Miyakonojo-West



2008~2009 クラブテーマ

一人は  
みんなのために  
みんなは  
一人のために

**週報** 第1617回 平成21年5月20日  
会長 中村 七郎 幹事 吉原 信幸

創立1976年3月10日 例会場:ホテル中山荘 Tel 0986-23-3666  
事務局:メインホテルナカムラ4F Tel 0986-25-0834  
Mail:rc2730@lily.ocn.ne.jp http://miyakonojo.sakura.ne.jp

**点鐘**

合唱 手に手つないで

**ビクター紹介**

- ◎ 都城 外山 勝 坂口 三郎 佐々木鴻昭
- ◎ 都城北 水越 賢二
- ◎ 都城中央 なし

**□会長の時間 中村 七郎**

文芸春秋6月号に作家塩野七生氏(在イタリア)の「地震国・日本ができること」の題で外交に関する提言が面白く読みましたので紹介します。

中川問題で地に落ちた感のあった日本の評判がイタリアで今、V字回復している。第一は安藤広重の展覧会。既に2万人の入場者を越えた。第二は中部イタリアのアブルッツォを襲った地震である。日本と同じで地震帯の上の国だが、その州都が地震で壊滅状態になったのだ。ここでイタリア中から声が上がったのだ。先進国のなかでは日本では、この程度の地震では死者はでないのではないかと。これにイタリアのその分野の専門家たちがここぞとばかりに答えたのだ。「日本人は耐震技術とその普及に熱心にとりくんでいるのです」

それ以来日本に学ぼう、という声が沸きあがったのは。連日TVや新聞で日本の耐震対策が賞賛され始め、それは地震から二週間が過ぎてもなお続いている。

私はイタリア大使館の広報担当官に聞いたのだ。客人としてイタリアに滞在している我々日本人のこの不幸になにかしなければと思います。日本の在外公館に勤める官僚は相対的に民間人からの提言を迷惑がる傾向が強い。しかし大使の人柄で二つのタイプがある。①特命全権大使としての権威をなにより重視する人は拒否反応はしないまでも聞き流すだけ。②オープンな人と提言を受け入れるだけでなく自分からそれを強化させる。①型だと館員全体が閉鎖的になり②だと館員が民間と活発に交流するようになるから不思議である。提言の翌日大使と初めて会った。

「今回の地震はイタリアにとって大きな不幸ですが、日本には絶好のチャンスです」勿論事業が成功するか否かはそれに参加する全員がトクするか否かにかかっていると。提言は在イタリアの日本の法人と個人への募金の呼びかけと、日本の耐震技術の粋をつくした建造物を、一つでよいから建てて贈る。両方とも大使との合意ができた。前者はイタリアへの見舞金。後者は実現すれば、日本へのイメージアップに役立つだけでなく、耐震技術を軸としてのビジネス面でのビッグチャンスにもなりかねないのである。

経団連の御手洗会長がG8ビジネスサミットにローマに立ち寄るから、帰国後、大手建設業に呼びかけ耐震技術のプロ達のイタリア派遣を実現することも出来るはずである。もしも実現すればイタリアのマスコミは、絶対報道するだろうし、インタビューが殺到するだろう。日本の技術で体育館なりが再建出来たら、イタリアに限らず欧州からも中東からも見学者が殺到するにちがいない。

「顔の見える外交」が我々日本人の望みならば、我々自らが顔をみせるよう努力せねばならない。それも、あちらがトクすると同時にこちらにもトクする形で。

今週の余談です。

日本医科大学の心筋梗塞の発作時間調査の結果、一番起きやすいのは午前も午後も9時前後にピークがあるとのこと。米国の調査も同じ傾向にあります。

**□幹事報告 吉原 信幸**

- えびのRC……創立40周年参加のお礼状
- 地区次期職業奉仕委員会……  
次期職業奉仕委員長研修会  
9/5(土) 13:00-15:00 アズムホール
- 口と足で描く芸術家協会……暑中見舞い  
お便りセットの案内
- 関美工堂……ロータリー用品カタログ案内

□クラブ報告事項

- \*最終回 情報集会 5/27 (水) 18:30- 中山荘 会費 1,000 円
- \* 6月定例理事会並びにクラブ協議会案内 5/28 (木) 理事会 18:00 協議会 18:30 中山荘
- \* 次年度クラブ協議会 6/3 (水) 18:30-中山荘
- \* 次年度事業計画提出 5/29 までです。

□出席報告

会員数	59名	
出免数	4名	
出席数	41+1名	
出席率	75.00%	
前々回修正出席率	5/6	祝日
前回修正出席率	5/13	93.10%

届出有	上田 大峯 鬼束 河村 川口 高橋 山下 藤岡 中村静 串間 永野 川元 盛田 鎌田継
MU有会員	なし なし 井福 小坂 楠松 木佐貴 藤岡 土持 中山 外山 岩橋 三坂 前田 山浦 長友
MU無会員	祝日
要MU会員	鬼束 中村静 船木 吉田

□ 委員会報告



皆勤賞

30年 三坂 昭一  
8年 外山 俊明  
各氏

# 新入会員卓話



大吉 利紀会員

- ・ 新型インフルエンザ
- ・ 銀行業界の再編
- ・ 15兆円経済対策について 等

□SAA報告

土持 修

◎ ニコニコ箱

三坂 昭一…30周年皆勤賞を頂きました。  
これからも頑張ります

中村 七郎…次年度委員長の方々、地区協議会ご苦労様でした

外山 俊明…8年無事勤められました。  
皆様のお陰です

◎ 米山奨学会

鎌田 博文…米山奨学会へ

◎ 今後のプログラム 予定

5/27 友愛担当例会 会員卓話

6/3 各委員会事業報告①…クラブ 奉仕部門

6/10 夜間例会…宮崎林ルフィニックスにて

6/17 各委員会事業報告②…3大奉仕

6/24 会長・幹事退任挨拶

	5/20	計
ニコニコBOX	4,000	284,541
ゴールドBOX	2,693	93,725
ロータリー 財団 (5900\$ 約60万)	0	392,800
米山奨学会 (59万円)	5,000	241,000
教育振興基金 (30万円)	0	263,000
竹と風の学校		86,802

\* ( ) 内数字は委員会の年間目標設定額

雑誌会報委員会

木佐貫鐵藏 鬼束 洋 前野 益孝 福永 直人

ロータリー事務局 制作

インターネット委員会

平川 靖三 馬渡 秀光 串間 保寛 藤岡 成学

## 地区協議会報告



### 2009-10 会長 井福 博文

5月17日(日)シーガイアのサミットホールで2730地区の次年度に向けての協議会が開催されました。約800名の次年度を担うロータリアンが一同に会し、次期ガバナー秦喜八郎さん(宮崎中央RC1933年生まれ75~76才の産婦人科医師)が2009年1月にサンディエゴで開催された国際会議での報告をされました。100年に1度という全世界の経済不況の中、ロータリーもまた例外ではありません、この危機を改革の好機と捕まえ、未来に発展する備えと努力が必要だといわれました。地区の一人ひとりの会員が次年度RIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」(The feature of Rotary is in your hands)の投げかけを受け止め「私の手の中に」の自覚を持って活動してもらうために、最後の準備会合として今回の地区協議会を開催した意気込みを話されました。ロータリー創立100年来の危機を乗り越え、明るい未来を築く為、ロータリーの原点に立ち返って地区とクラブの活動を見直さなければならない(改革?)と訴えられ、皆さんと一緒に新しいロータリーの未来を築きましよう、挨拶されました。

私は、次期ガバナー秦さんは、とても個性的な人物だと感じました。その個性に私は共感と好意をもちました。なぜなら私も「基本に帰る・原点に戻る」という言葉が好きだからです。次に次期RI会長を紹介します。スコットランド出身の弁護士ジョン・ケニー氏です詳しくはロータリーの友3月号を見てください。次期RI会長はRI役員経験者ですが、RIを改革するような発言を、しばしばしています。RIを改革しようとする彼の強い意思の表れではないかと私には感じられます。その発言をいくつかご紹介します。

- すべてのロータリー・クラブは自立した存在であるべきであって、RIのシニア・リーダーの役割は統制することではなく、意欲を喚起し、導くことです。
- ロータリーの未来はエバンストンにあるRI本部で形づくられるのではなく、個々のロータリー・クラブによって形成されるのです。
- ロータリーの進路を決めるのは、私たち自身の日頃の行動であり決定です。
- ロータリーは、すべてがクラブに始まり、クラブに終わります。
- ロータリーが繁栄するか後退するかはすべて皆さん次第です。
- それぞれの地域社会では、なすべき仕事が待ち受けています。
- ロータリーをロータリアンに戻したい。(ロータリーの最大の資産は会員です)
- ロータリーと他の組織を区別するものは、疑いもなく職業奉仕です。

等です。

皆さん、いかがですか？

次期RI会長の人柄をどのように想像されますか？ 私には会員一人ひとりを大事にし、そして一つ一つのクラブを大切に、まさに、原点に戻る、信頼できるロータリアンの人柄が想像できます。だからこそ、次年度RIテーマ「ロータリーの未来はあなたの手の中に」を聞いたとき、感動に似た気持ちになりました。

## 地区協議会に参加して



### 前田 吉基

先日、宮崎で行われた地区協議会に参加してまいりました、とはいっても、3月に入会したばかりの新米会員ですから、ホントに参加しても大丈夫なのかなあと思いましたが、代理での出席ということで、あまり深いことは考えずこれも経験だと思い、私が 09~10 年度に所属する、広報・雑誌・IT委員として出席いたしました。

地区協議会は、5月17日の日曜日に、シーガイアリゾートのワールドコンベンションセンターサミットホールにて、開催されました。

とても立派な会場で、参加人数は六百数十名ぐらいだったかなと記憶しています。想像していたより人数が多かったので、率直に「ああ、たくさんのロータリアンがいらっしゃるんだなあ」というふうに思いました。

私たちが所属する 2730 地区というのは宮崎県だけかと思っていたのですが鹿児島県も含んでいるんですね、どおりでたくさんの方がいらっしゃるわけです。

今回は宮崎県での開催ということで、鹿児島県の方をゲストとしてお迎したようですが、一口に鹿児島県といっても広いですし、特に奥地や島の方からいらっしゃる方々なんかは結構大変だったのではないのでしょうか？

さて、そうこう考えているうちに、次期ガバナーの秦喜八郎さん(宮崎中央ロータリークラブ所属で、個性の強い方だと紹介されていました。)の点鐘で協議会が始まり、各委員長の方々が10分ずつ順番にお話しされるわけですが、私としては聞きなれない言葉や、まだよく理解していない仕組みのことなどもございまして、いただいた資料を拝見しながら聞いても、イマイチよく理解できなかったというのが率直な感想ですが、雰囲気等も体感することができ、とてもいい経験になりました、ありがとうございます。

帰り道には6月の宿泊例会会場(サンホテル)の下見に同行しました、小坂会員が従業員の方にいろいろと念入りに確認をされているようでしたので、参加される方は例会を楽しみにしておいてください。そして、土持会員には、お疲れだったと思いますが、行きと帰りと車の運転をしていただきまして、本当にありがとうございました。

最後に、この都城西ロータリークラブは創立が昭和51年ということで、私と同年でございます。クラブとともに成長していけるよう頑張りますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします、ありがとうございました。